

日本国際経済学会ニュース

発行：日本国際経済学会本部

〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45 慶應義塾大学商学部 遠藤正寛研究室気付

日本国際経済学会本部事務局

Tel : 03-5427-1277 (遠藤正寛研究室) Fax : 03-5427-1578 (研究室棟事務局)

E-mail : jsie-office@fbc.keio.ac.jp

会長挨拶

学会活動の近況報告

日本国際経済学会 会長
木村 福成

学会の本務は、会員の皆様の教育・研究活動のためのインフラ・サービス供給だと考えます。特に我々の学会の場合には、実に多様なパラダイムや方法論をもって研究活動を展開されている方たちがいらっしゃいます。また、教育・研究への指向性も、世代によって大きく異なってきています。さまざまな学会サービス需要を汲み取りつつ、研究者が一堂に会することから生まれるシナジー効果を作り出していくことが、我々の目指すべきものだと思います。

学会本部としましては、1) 研究活動に関する情報共有、2) 若手研究者・大学院生の積極的参加、3) 学会活動の国際化を柱として、経常的活動の活性化を試みています。それらについて、いくつか進展がありましたので、以下に報告させていただきます。

10月22～23日、慶應義塾大学三田キャンパスにて、第70回全国大会を開催し、約280名の会員の参加を得ました。

今回の共通論題では、TPPその他をめぐる日本の通商戦略を取り上げました。国際経済学は常に現実世界とつながっている生きた学問分野であり、このような時事問題についてさまざまな学術的な立場から議論を戦わせていくことも、大切だと思います。

新たな試みだったポスターセッション、多くの方にお出でいただき、大盛況でした。通常的自由論題における論文発表以上にコミュニケーションの機会が多いのいいところです。次年度以降も設置をご検討いただけたらと思います。

従来からの当学会のフラッグシップである小島清賞（研究奨励賞・優秀論文賞）に続き、小田正雄氏の浄財により、世界で活躍する国際経済学研究者の育成（特に国際貿易・貿易政策部門）を主旨とする特定領域研究奨励賞（小田賞）が始まりました。若手気鋭の研究者が目標とするような賞となっていくことを願っています。

法人維持会員によるブースの設置も試みました。今回ご参加いただいたのは2社のみでしたが、出店数が増えてくればもう少し見栄えのするものになるのではないのでしょうか。お知り合いの出版社の方などがいらっしゃいましたら、法人維持会員になっていただけないかお願いしてみますので、是非ともご紹介ください。

以上、全国大会関係でしたが、さらに、さる12月10日、ソウル・慶熙（キョンヒ）大学にて開催された韓国国際経済学会年次大会に参加してきました。今回は、杉山泰之氏（福井県立大学）、柳原光芳氏（名古屋大学）、松林洋一氏（神戸大学）という気鋭の研究者3名にご発表いただき、韓国側も素晴らしい討論者をつけてくれたので、とてもよい合同セッションになりました。国際交流、いろいろな活用の仕方があると思いますが、若手・中堅研究者の研究ネットワーク拡大に使っていただくのも有意義ですね。

その他、学会誌の電子ジャーナル化、学会ホームページの充実等、担当役員の皆様にご尽力いただいております。時を経てやや混沌気味の会則・内規の整頓も、できることからやっています。

あまり張り切りすぎず、しかし着実に、学会を皆様のご期待に添うものに近づけていけたらと思います。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

2011年12月26日

日本国際経済学会ニュース 2012/1/6 目次

◎会長挨拶	1	◎日本国際経済学会の対外活動について	6
◎平成 23 年度会員総会 議事録	2	◎平成 23 年度新入会者（追加）	6
◎平成 23 年度小島清賞の決定と受賞について	4	◎平成 24 年度小島清賞について（お知らせ）	7
◎平成 23 年度特定領域研究奨励賞（小田賞） の決定と受賞について	4	◎平成 24 年度特定領域研究奨励賞（小田賞） について（お知らせ）	7
◎平成 22 年度小島清基金決算について	5	◎本部・各支部事務所所在地	8

平成 23 年度 会員総会 議事録

第 1 日

日時：2011 年 10 月 22 日（土）13：00～13：20

会場：慶應義塾大学 三田キャンパス 南校舎 5 階 南校舎ホール

議長：岩本武和副会長（京都大学）

1. 平成 22（2010）年度事業報告について
木村福成会長（慶應義塾大学）より以下の通り報告があり、これを承認した。
 (1) 第 69 回全国大会開催（2010 年 10 月 16・17 日 大阪大学）
 (2) 機関誌『国際経済（日本国際経済学会研究年報）』第 61 号発行
 (3) 機関誌『The International Economy』No. 14 発行
2. 平成 22（2010）年度決算案について
木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について説明があり、審議した結果、これを承認した。【「日本国際経済学会ニュース」2011 年 9 月 26 日号参照】
3. 平成 22（2010）年度特別事業活動基金決算案について
木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について説明があり、審議した結果、これを承認した。【「日本国際経済学会ニュース」2011 年 9 月 26 日号参照】
4. 平成 22 年度（2010 年 10 月～2011 年 9 月）日本国際経済学会小島清基金決算案について
木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について説明があり、審議した結果、資料の通りこれを承認した。
【5 頁参照】
5. 平成 23（2011）年度事業案について
木村福成会長（慶應義塾大学）より以下の通り説明があり、これを承認した。
 (1) 第 1 回春季大会および創立 60 周年記念シンポジウム開催（2011 年 6 月 11 日 龍谷大学）
 (2) 第 70 回全国大会開催（2011 年 10 月 22・23 日 慶應義塾大学）
 (3) 機関誌『国際経済（日本国際経済学会研究年報）』第 62 号発行予定
 (4) 機関誌『The International Economy』No. 15 発行予定
6. 平成 23（2011）年度予算案について
木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について説明があり、審議した結果、これを承認した。【「日本国際経済学会ニュース」2011 年 9 月 26 日号参照】
7. 平成 23（2011）年度特別事業活動基金予算案について
木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について説明があり、審議した結果、これを承認した。【「日本国際経済学会ニュース」2011 年 9 月 26 日号参照】

8. 日本国際経済学会小島清賞研究奨励賞および優秀論文賞の受賞者の発表について
日本国際経済学会小島清基金運営委員会委員長の阿部顕三顧問（大阪大学）より標記について、研究奨励賞には趙来勲氏（神戸大学）が選考され、優秀論文賞は該当なしとの発表があった。【4頁参照】
9. 日本国際経済学会特定領域研究奨励賞（小田賞）の受賞者の発表について
日本国際経済学会特定領域研究奨励賞（小田賞）審査委員会委員長の木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について、内藤巧氏（早稲田大学）が選考されたとの発表があった。【4頁参照】

第2日

日時：2011年10月23日（日）13:00～13:20

会場：慶應義塾大学 三田キャンパス 南校舎5階 南校舎ホール

議長：岩本武和副会長（京都大学）

1. 新入会員の発表について
木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について、2011年6月11日の第1回理事会において19個人、当日の第2回理事会において5個人・2法人の入会申し込みが承認されたとの報告があった。【「日本国際経済学会ニュース」2011年9月26日号および本号6頁参照】
2. 第2回春季大会（2012年）開催機関について
木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について、南山大学で開催するとの発表があった。（※開催日は2012年5月26日（土）となりました。）
3. 第71回全国大会（2012年）開催機関について
木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について、甲南大学で開催するとの発表があった。また、開催日は2012年10月13・14日が予定されていることが報告された。あわせて、青木浩治常任理事（甲南大学）より開催校からの挨拶があった。
4. 第71回全国大会「プログラム委員会」の委員長および委員の発表について
木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について、プログラム委員会の委員として、奥村隆平常任理事（名古屋大学）、中西訓嗣常任理事（神戸大学）、勝悦子理事（明治大学）、中嶋慎治理事（松山大学）、市野泰和氏（甲南大学）の5名が指名されたとの報告があった。他の委員および委員長については、後日指名の上「日本国際経済学会ニュース」を通じて発表することとした。（※他のプログラム委員会委員には、古沢泰治理事（一橋大学）と伊田昌弘幹事（阪南大学）が指名されました。また、委員長には中西訓嗣常任理事（神戸大学）が互選されました。）
5. 学会機関誌の電子ジャーナル化、投稿資格、執筆要領等について
木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について、電子ジャーナル化の進捗状況、投稿資格の明確化とホームページへの掲載、執筆要領の作成状況が報告された。
6. 学会ホームページの維持・管理について
木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について、ドメインの取得と新サーバーへの移転が報告された。
7. 法人維持会員制度について
木村福成会長（慶應義塾大学）より標記について、法人維持会員制度の状況が報告された。

（本部事務局注：※は事務局による追記で、総会後に決定した関連事項です。）

平成 23 年度小島清賞各賞の決定と受賞について

2011年7月9日(水)に日本国際経済学会 小島清賞選考委員会が開催され、以下の通り各賞の授賞が決定されました。また、先日慶應義塾大学で開催された第70回全国大会2日目(10月23日)に研究奨励賞授賞式が執り行われ、趙来勲先生の受賞記念講演が行われました。

1. 研究奨励賞：趙来勲先生(神戸大学)
2. 優秀論文賞：該当なし

平成 23 年度特定領域研究奨励賞(小田賞)の決定と受賞について

日本国際経済学会 特定領域研究奨励賞(小田賞)審査委員会は、慎重な審議の結果、内藤巧先生(早稲田大学)を本賞の第1回受賞者とするに致しました。先日慶應義塾大学で開催された第70回全国大会2日目(10月23日)に授賞式を執り行いました。



文眞堂
162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町五三三
URL: <http://www.bunshin-do.co.jp/>

●A・チャンドラー教授絶賛、野中郁次郎教授推薦！
M・アンチヨルドギー著／安部悦生他監訳 定価32255円

日本経済の再設計―共同体資本主義とハイテク産業の未来―
●中国企業の国際化と競争力強化を解く新中国研究！
八代尚光著 定価26225円

新中国企業論―国際化とイノベーションの研究―
●世界経済構造大変動の今、変化を見通す視点を提供！
池間 誠編著 定価3150円

国際経済の新構図
●目下焦眉の日本の通商課題を問う最適の必読書！
馬田啓一・浦田秀次郎・木村福成編著 定価2940円

日本通商政策論―自由貿易体制と日本の通商課題―
●研究者・政策立案者にとり極めて有益な研究書！
V.K.アファル&浦田秀次郎編／浦田・上久保監訳 定価3990円

FTAの政治経済分析
●揺らぐとも「アメリカ経済」揺らぐとも「ドル本位制」！
岡本恵也・楊枝嗣朗編著 定価2625円

なぜドル本位制は終わらないのか
●安定したアジア通貨システム構築への提言！
中條誠一著 定価2940円

アジアの通貨・金融協力と通貨統合
●「メゾ」の視点から経済・貿易構造の変化・変容を解く！
石田 修著 定価3990円

グローバルバリエーションと貿易構造
●永遠のテーマを縦横無尽に論述！
宮川典之著 定価2100円

一次産品問題を考える―史的考察・国際金融・大恐慌―

4

日本国際経済学会ニュース

平成 22 年度小島清基金決算について

2011 年 10 月 22 日に慶應義塾大学において、以下の平成 22 年度小島清基金決算が承認されました。

平成 22 年度 小島清基金決算 (2010/10~2011/09)

収入	繰越金	16,980,865
	利息	4,023
	総計	16,984,888
支出	賞金 ¹⁾	0
	表彰楯等 ²⁾	205,924
	会議費	4,029
	交通費	178,000
	郵送費	0
	振込手数料	3,359
	雑費 ³⁾	15,750
	総計	407,062
次年度繰越金		16,577,826

1) 平成 22 年度の小島清賞は奨励賞 1 名であるが、賞金支出額が 0 円である理由は以下の通りである。平成 21 年度まで、小島清賞の賞金はその年度の 9 月までに支払いがされていた。しかし、表彰が行われるのは全国大会が開催される 10 月（次年度のはじめ）であり、実態に即して表彰後に支出した方が望ましい。したがって、今年度の決算より、当該年度の賞金の支払いは次年度の支出に計上するものとする。

2) 平成 21 年度と平成 22 年度の小島清賞受賞者への表彰楯代等が含まれる。

3) 雑費には、式典の盛り花費用等が含まれる。

注) 上記の「平成 22 年度 小島清基金決算」につきましては、監事の先生方にご監査頂いております。

世界経済評論

WORLD ECONOMIC REVIEW

■2012 年 1/2 月号

総特集◎白馬会議 2011 再起動せよ！ニッポン。

日本政治の今後—〈戦後〉から〈災後〉へ

御厨 貴

グローバル経済の今後—世界経済変動のダイナミクス

武者陵司

日本製造業の今後—ものづくり大国への復権

黒田篤郎

日本エネルギー政策の今後—脱原発の理想と現実

飯田哲也

【クロステーマ】「3・11」後の課題とシナリオを問う ほか

〈B5 判・64 頁／定価 1260 円〉

●定期購読キャンペーン実施中！今、定期購読をお申し込みいただくと、年間 7000 円を 4200 円に！

社団法人 世界経済研究協会

<http://www.sekaikeizai.or.jp>

〒107-0052 東京都港区赤坂 5-2-41 赤坂サンクビル 203

TEL:03-6423-0057/FAX:03-6423-0056

日本国際経済学会の対外活動について

日本・韓国国際経済学会学術交流協定に基づき、2011年12月10日（土）に慶熙大学校において開催された2011年度韓国国際経済学会・冬季学術発表大会に木村福成会長、岩本武和副会長および研究報告者として以下の会員の方々が派遣されました。

報告者：

杉山 泰之（福井県立大学）	“Special Economic Zones, Urban Unemployment, and Environmental Protection”
柳原 光芳（名古屋大学）	“Altruism and the Transfer paradox in an Overlapping Generations Model”
松林 洋一（神戸大学）	“Budget Deficits and Current Account in the U.S. and Japan: An Alternative Investigation on the Twin Deficits Hypothesis”

平成 23 年度新入会者（追加）

※個人情報保護のため削除しました。



Passport GMID

グローバルマーケット情報データベース

ユーロモニター・インターナショナルの **Passport GMID(Global Market Information Database)**は、世界の産業、国、消費者に関する統合データベースです。

- 世界 80 ヶ国、25 の産業市場をカバー。
- 国内外の多数の金融機関、調査・研究機関、政府機関、製造業、小売業、ビジネススクールに国際市場統計のグローバルスタンダードの一つとしてご利用いただいております。
- データ分類：消費財産業、小売業、観光業、消費者ライフスタイル、経済、金融、貿易、政府、労働教育、所得と支出、産業、インフラ、環境、人口と世帯プロフィール、ITとコミュニケーション



ユーロモニター・インターナショナル

105-6034 東京都港区虎ノ門 4-3-1 城山トラストタワー34階
Tel:03-3436-2100 FAX:03-3436-2199
<http://www.euromonitor.com>

平成 24 年度（第 7 回）小島清賞について（お知らせ）

日本国際経済学会・小島清基金運営委員会委員長
阿部 顕三

日本国際経済学会小島清基金運営委員会では、平成 24 年度（第 7 回）小島清賞の受賞者選考に際しまして、学会員の皆様からの推薦（自薦を含む）という形で候補者に関する情報を幅広く受け付けています。小島清賞には研究奨励賞と優秀論文賞があります。詳しくは本学会ホームページをご覧ください。

以下の宛先まで「郵送」にて候補者に関する情報（推薦書）をお寄せください。推薦書には、候補者の氏名、所属、業績、その他小島賞への推薦理由となる事柄をお書きください。様式は自由です。また、情報提供者ご自身の氏名、所属、連絡先（電話、FAX、電子メール等）もあわせてお知らせください。なお、情報提供の締め切りは 2012 年 4 月 26 日（木）とします。

郵送先 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1
神戸大学大学院経済学研究科 中西訓嗣研究室気付
日本国際経済学会 小島清基金運営委員会事務局

平成 24 年度（第 2 回）特定領域研究奨励賞（小田賞）について（お知らせ）

日本国際経済学会・特定領域研究奨励賞（小田賞）審査委員会委員長
木村 福成

特定領域研究奨励賞（小田賞）は、「世界で活躍する国際経済学研究者を育成すること」を目的とし、次のような事業を内容とするものです（詳しくは学会ホームページをご覧ください）。

- (1) 国際貿易・貿易政策に関する優れた研究を行い、外国の査読付き雑誌に論文を掲載した学会員を顕彰する（審査対象論文は候補者の近刊および過去のすべてのものを含む）。
- (2) 受賞者は受賞年度 3 月末の時点で 45 歳以下とし、原則として毎年 1 名とする。
- (3) 受賞者には賞金 10 万円を授与する。
- (4) 本事業は平成 22 年 10 月よりおおむね 10 年を目処として実施する。

候補者は、自薦または審査委員会の推薦により、選ぶものとされています。自薦いただける方は、2012 年 6 月末日までに、論文および略歴・業績表を、審査委員長宛（木村福成：fkimura@econ.keio.ac.jp）お送りください。

本部・各支部事務所所在地

【本 部】 日本国際経済学会 本部事務局
〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45
慶應義塾大学商学部 遠藤正寛研究室気付
Tel: 03-5427-1277 (研究室直通) Fax: 03-5427-1578 (研究室事務室)
E-mail: jsie-office@fbc.keio.ac.jp

【関東支部】 日本国際経済学会 関東支部事務局
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1
上智大学経済学部 蓬田守弘研究室気付
Tel: 03-3238-3213 Fax: 03-3238-3086
E-mail: m-yomogi@sophia.ac.jp

【中部支部】 日本国際経済学会 中部支部事務局
〒441-8522 豊橋市町畑町 1-1
愛知大学経済学部 栗原裕研究室気付
Tel & Fax: 0532-47-4468 (研究室直通)
E-mail: kurihara@aichi-u.ac.jp

【関西支部】 日本国際経済学会 関西支部事務局
〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学大学院経済学研究科 神事直人研究室気付
Tel & Fax: 075-753-3511 (研究室直通)
E-mail: jsie-west@econ.kyoto-u.ac.jp

【日本国際経済学会ホームページ】
<http://www.jsie.jp/>

【学協会サポートセンター】
〒231-0023 横浜市中区山下町 194-502
Tel: 045-671-1525 Fax: 045-671-1935
E-mail: scs@gakkyokai.jp

【学協会サポートセンターホームページ】
<http://www.gakkyokai.jp/>